

学習指導要領		足立西高校 学カスタンダード
A 話 す こ と ・ 聞 く こ と	<p>ア 話題について様々な角度から検討して自分の考えをもち、根拠を明確にするなど論理の構成や展開を工夫して意見を述べること。</p> <p>イ 目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすること。</p> <p>ウ 課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方や進行の仕方などを工夫して話し合うこと。</p> <p>エ 話したり聞いたり話し合ったりしたことの内容や表現の仕方について自己評価や相互評価を行い、自分の話し方や言葉遣いに役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>調べた内容を参考にして自分の考えをもち、根拠に基づいて話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べた内容を参考にして自分の考えをもつことができる。 ・根拠を示しながら自分の考えを話すことができる。 ・話の主題を自分の言葉で話すことができる。 <p>目的や場に応じて、分かりやすく適切な言葉で話したり、メモを取りながら聞き取ったりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介のスピーチなどで、何のために誰に向かって話すのかを考えて、言葉を選んで話すことができる。 <p>相手の考えを受け止め、自分の考えを説明し、円滑に話し合うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの話し合いなどで、相手と自分の共通点や相違点をとらえ、自分の考えに生かすことができる。 <p>自己評価や相互評価を通して、自分の話し方や言葉遣いを見直し、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手や場に応じた語句の使い方、態度、論の構成など、自己や他者の良い点・直すべき点を指摘することができる。

学習指導要領		足立西高校 学カスタンダード
B 書 く こ と	<p>ア 相手や目的に応じて題材を選び、文章の形態や文体、語句などを工夫して書くこと。</p> <p>イ 論理の構成や展開を工夫し、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめること。</p> <p>ウ 対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書くこと。</p> <p>エ 優れた表現に接してその条件を考えたり、書いた文章について自己評価や相互評価を行ったりして、自分の表現に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにすること。</p>	<p>誰に向かい、何のために書くのかを考え、題材や文章の形態にふさわしい文体や語句を用いて書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句や言い回しの重複を避けることができる。 <p>論理の構成や展開の仕方について知り、自分の考えをその根拠と結び付けて文章にすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実・意見・引用を区別し、根拠を示しながら自分の考えを明確にすることができる。 <p>説明や描写の違いなどを知り、相手や目的を意識した表現の仕方を書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情景や人物、心情などを、読み手が想像しやすいように描写することができる。

学習指導要領		足立西高校 学カスタンダード
<p>C 読 む こ と</p>	<p>ア 文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読むこと。</p> <p>イ 文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりすること。</p> <p>ウ 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうこと。</p>	<p>自他の文章への評価を通して、自分の表現を見直し、自分とは異なるものの見方、感じ方、考え方に気付くことができる。</p> <p>・構成の仕方や語句の使い方などの良い点・直すべき点に気づくことができる。</p> <p>(現代文) 文章の形態(小説・評論・韻文など)における表現の特色を意識しながら読むことができる。</p> <p>・小説の表現や韻文のリズムを、音読を通して味わうことができる。</p> <p>(古典) 比較的短く平易な文章について、文章の形態の違いを知り、表現技法や語句の使い方に注意して読むことができる。</p> <p>・歴史的仮名遣いに注意して音読することができる。</p> <p>・物語・随筆・日記・和歌などのジャンルの違いを意識して、それぞれの作品を読むことができる。</p> <p>・漢文の基本的なきまり(訓点・再読文字・置き字・句法など)に従って音読することができる。</p> <p>・詩の形態や押韻を指摘することができる。</p> <p>文脈をとらえ、筆者の考えなどを読み取ったり要約したりすることができる。</p> <p>・文章中の指示語や接続詞を意識して読むことができる。</p>

学習指導要領	足立西高校 学カスタンダード
<p>エ 文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について評価したり、書き手の意図をとらえたりすること。</p> <p>オ 幅広く本や文章を読み、情報を得て用いたり、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしたりすること。</p>	<p>登場人物を押さえ、行動や性格、心情の変化をとらえることができる。</p> <p>登場人物の心情が情景描写にしばしば反映・象徴されることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各場面での登場人物の言動や心情を読み取ることができる。 <p>押さえ、誰が、どうしたという流れを読み取ることができる。</p> <p>様々な文章の構成や展開を確かめ、内容や表現の仕方について考えたり、書き手の主張をとらえたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各段落の働きを理解し、段落相互の関係を読み取ることができる。 <p>様々な形態・内容・分野の本や文章を読み、そこから得た情報を理解し、自分の考えをもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 読んだ本や文章から、必要な情報を読み取り利用することができる。

学習指導要領	足立西高校 学カスタンダード
<p>ア 伝統的な言語文化に関する事項 (ア) 言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について気付き、伝統的な言語文化への興味・関心を広げること。</p> <p>(イ) 文語のきまり、訓読のきまりなどを理解すること。</p> <p>イ 言葉の特徴や決まりに関する事項 (ア) 国語における言葉の成り立ち、表現の特色及び言語の役割などを理解すること。</p>	<p>日本の伝統的な言語文化について基本的な事柄を知り、また外国の文化の影響に気付くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の朗詠・贈答の慣習、三大集（万葉・古今・新古今）を知る。 ・基本的な古典知識（月の異名、十二支など）を知る。 ・中国の文字や書物の影響のうち基本的なもの（故事成語など）を知る。 <p>基本的な文語のきまり、訓読のきまりを理解し、文章の音読や読解を行うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣い、基本的な用言の活用を理解し、係り結び、敬語法を理解する。 ・訓点や基本的な再読文字・置き字・句法（否定・使役など）について理解し、訓読したり書き下し文にすることができる。 <p>語句、語彙の成り立ちについて基本的な事柄を知り、また、社会における言語の役割について理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熟語の構成における主述関係や修飾、被修飾の関係を理解する。 ・基本的な古今異義語（うつくし、をかしなど）の意味の違いを知る。

学習指導要領		足立西高校 学カスタンダード
伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項	(イ) 文や文章の組立て、語句の意味、用法及び表記の仕方などを理解し、語彙を豊かにすること。 ウ 漢字に関する事項 (ア) 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字が書けるようになること。	文の成分や文章の構成、語句の意味、用法及び表記の仕方などについて基本的な事柄を知り、活用することができる。 ・比較的平易な文章の段落構成（序論・本論・結論、起承転結など）を理解する。 常用漢字の大体を読み、文や文章の中で使うことができる。